

令和5年度第1回運営推進会議議事録

日時： 令和5年6月6日（火） 15:00～16:30

会場： グループホーム萌 レクリエーション室

出席者：

利用者家族	2名	出雲市役所様	1名
地域住民の代表	9名	その他（ホーム長・専務・職員）	3名
欠席	2名		

.....

（今年度より会議を書面会議ではなく、一堂を会しての開催とした。ただ、今回は当初予定していた5/25（木）が当施設のコロナ感染症により延期となり、6/6（火）に開催となった。

1. 会議の目的と推進委員様ご挨拶

- ①運営推進会議とは
- ②新年度運営推進委員様からのご挨拶

2. 感染症について

- ① 新型コロナ第2類から5類変更に伴う取り組み
厚労省からの高齢者施設への指針と5類における見直しを行った。
- ② コロナ感染拡大を防ぐ
5/21 コロナウイルスの職員1名の感染において時系列で対応を確認頂いた。また、日頃から感染対策を行っているが今回のようなケースでも施設内に持ち込まなかった（利用者・職員ともに1名を除き感染せず）

3. 当施設の取り組み

- ・笑ってもらうこと
- ・「したい！」と思って頂ける企画の立案
- ・季節を感じること
- ・その人らしくあること～家族や地域とのつながり～

4. 研修の実施

- ・職員研修～利用者様の心の中を把握する～、～セロトニン介護～

5. 創立20周年記念式典

（運営推進委員様のご意見）

・20周年おめでとうございます。なかなか続けれるものではないですよ。当時は看取りという言葉もなかったです。笑顔があることが生きる力です。笑顔について特に力を入れておられるなと思いました。また、研修での生活安寧指標は点数の低い方にも目を向けて下さいね。

・20周年おめでとうございます。当時は萌さんともう一か所の2か所しか介護施設がなかった記憶があります。私の知り合いがこちらに入所していましたがはじめは「帰りたい」と言っていました。だんだん言わなくなってきて「ここで良かったな」とその時に思っていました。また、これまで萌の会議で教えてもらったアンガーマネジメントや深呼吸など今でもしていますが、新しくこちらも取り入れていきます。

- ・コロナ禍で行事もいろいろと工夫されて面会や会議も出来ない時間がとても長かったですね。そんな中で5月

から面会が出来るようになって、皆さんとても喜んでおられたのではないかと思います。安寧指標はお一人おひとりの点数が低い理由を把握することやその方に合った指標もあったらよいのではないかと。

ご家族向けの認知症勉強会を開催されるとのことですが、非常に価値のあるものでした。母が入所していた時には看取りのことを考えていなかったです。当時は聞くことがむしろ怖かったのですが、勉強会で理解できて分かってよかったなと今では思います。

・毎月のコロナ訓練の内容はどういったものですか？

⇒利用者様は感染された場合に行う訓練です。居室内での食事の提供方法や排泄方法について細かく場所のことまで決めています。

・笑うということはとても大切ですね。がん細胞も死滅するそうですね。企画を立案するということが、大変ですが参加されている方がたくさんおられてすごいですね。

・研修を毎月されて、20年経過しても前へ前へ進んでおられますね。

・現在入所している母は当時きつい方でわだかまりもありました。ただ、ユマニチュードを習って同じ目線で話すことで母の顔も明るくなり冗談も言い合えるようになり、今は母ととても良い関係にあり研修（勉強会）が活かされていると感じています。コロナ前に行っていた食事会も是非復活して下さい。

・入所している母とよく電話しています。楽しそうにしている様子がインスタグラムでもあげてもらっているのでそれを見ながら母と話すとき30分以上話すこともあり、とても盛り上がっています。

・今回初めての出席となりました。今回は一堂を会しての開催ということで、頑張っておられるなと思います。

・萌の20年は研究の20年でしたね。やってみて振り返りと挑戦でしたね。やはり笑うことは、心を豊かにし、したいことが意欲につながるんだと改めて思いました。そして、生活に満足して心安らぐことで居場所となるのだと感じました。